

地域農業を支える女性農業者の育成

県西農林事務所 坂東地域農業改良普及センター

坂東地域農業改良普及センター管内は、若手の後継者や新規就農者、女性農業者が活躍している県内有数の地域です。農業体験や6次産業化、新しい組織立ち上げの支援など、活動に広がりを見せる女性の支援を通じて、地域や産業の活性化推進に取り組んでいます。

グリーンツーリズムの取組

坂東市の農家レストラン「どんぐりてい」では、「田舎のない都会の人や地元の人が集う憩いの場をつくり、地元農産物を知ってもらいたい」との思いから、農家レストランやグリーンツーリズムの活動を平成18年から実施しており、普及センターでは商品開発支援や栽培支援を行ってきました。

平成28年度は、田植えから稲刈りまでの本格的な農業体験の受入れに取り組んだ結果（写真1）、圏央道を利用して首都圏から多くの都市住民が訪れ、地域の活性化も図られました。普及センターでは今後も農業の魅力を発信し、都市との交流やグリーンツーリズムを支援していきます。



写真1 田植え体験



写真2 食遊三和による食育講座
（上：開発した加工品「古河カラシ」）

若手女性組織の立ち上げ

普及センターでは、管内の若手女性農業者を対象に食育を中心とした講座を開催しています。子供との参加も可能にしていることから、毎回約20名もの参加者があり、若手女性農業者にとって貴重な情報交換の場として定着しています。

講座で親しくなった古河市内の20～30代の小さな子供のいる女性農業者の組織化に向け、先輩若手女性組織との交流会や、加工体験会を行いながら組織化について話し合いを続け、平成29年に新組織「桃 HANA ☆」を設立することができました（写真3）。ママさん女性農業者のこれからの活躍が期待されます。

女性加工グループの活躍

古河市女性起業ネットワーク「食遊三和」は農産加工を行う6名（酪農・お茶・ハーブ・野菜・普通作）のグループで、普及センターでは設立当初から、試作や販売方法など積極的に活動を支援してきました。農産加工コンクールで2年連続で入賞した加工品は道の駅「まくらがの里こが」で販売し、好評を得るなど大きな成果を収めることができました。メンバーは、市主催の食農講座（写真2）で、収穫・加工体験の講師を務めるなど、地域農業の活性化から食育の普及へと、活躍の場をさらに広げています。



写真3 若手女性組織「桃 HANA ☆」